

2025年
3月号

Big Dipper NEWS

青年部
全国大会他

東北七県電気工事組合連合会 青年部です。皆さま、どうぞ宜しくお願い致します！！

読んでいただきありがとうございます。今回は青年部全国大会ならびに各ブロック会員大会の参加記録です。



全日電工連全国青年部協議会 第6回全国青年部会員大会 開催！

2025年11月29日、全日電工連全国青年部協議会主催第6回全国青年部会員大会が神奈川県横浜市にあるタカシマヤローズホールにて開催され、全国から600名を超える青年部会員が集まりました。東北七県からも多くの青年部会員に参加していただきました。

『時流と共に成長』～しなやかに躍動～を大会テーマに1日での開催となりました。

第一部では【未来の電気工事業界】について様々なテーマでランチミーティングが行われました。3部構成のランチミーティングではお弁当を食べながら人材育成やDXの活用、採用や新技術、また事業継続に関わる後継や顧客の獲得など、テーマはあれどざっくりばらんに対話をしていきました。同じテーブルの方には新しい採用方法を考えている人や、公共工事と民間との売上構成比率を改善したいと悩んでいる方、また従業員の育成について一言を持っている方の提言など、多種多様な意見が飛び出し、感心されることも多かったです。感想としては興味あるテーマを決めて臨むのもよいですが、『価値観』や『感情』や『共通認識』など、雑多なテーマをカードで引きながらそれについて一人の話を聞き、それについて話を膨らませて行うのも面白いのかなと感じました。

第二部では式典を行い、青年部の齋藤会長の挨拶や本会である全日電工連の米沢会長の祝辞などが粛々と進められ、全日電工連は青年部の活発な活動が本会の活性化につながっていることを改めて認識できました。

第三部では【Presentation Award 2024 追い越せ！ミライ☆ ～愛すべき電気工事業界～】と題し「青年部」という若さ故の大胆な発想と行動力をもとに、これからも時流を的確に捉え、さらには成長した業界の未来の姿を明確に描くという、ありきたりな未来の一步も二歩も先行く発想力を創造することを目的とし各ブロックごとに3分間のプレゼンテーションを行いました。東北ブロックは「つくる、つながる、その未来（さき）へ」というテーマで発表。現状の課題とこのまま進んでいくことでのマイナス、そのために必要なこと、そして改善していくことで私たちの未来はどう輝いていくかを伝えました。

(次ページに続きます)

第四部では【Summit Creative CM Award 2024 繋ぐ閃光Motion ~動画で贈る未来へのシグナル~】と題し簡潔にわかりやすく業界PRを可能とする動画に注目し、業界の魅力や業界の未来のあるべき姿など動画を通して新たな気付きを得ることを目的として各ブロックごとにPR動画を作成し、発表しました。

東北ブロックは東日本大震災で経験したこと、感じたことをもとに電気工事業が生活になくてはならないこと、また電気工事を通して人々の暮らしを支え豊かにする影のヒーローであることを未来の仲間となる子どもたちに伝えることを念頭に「we are shadow heroes」～東北の暮らしを支えるために～を作成しました。この動画は今後東北七県内の青年部会員も使用できます。

このコンペティションは青年部だけではなく本会の理事役員の方々にも見ていただきました。東北ブロックは結果上位に入賞することはできませんでしたが、プレゼンテーションや動画作成を通じ、また他のブロックの作品を見て、電気工事業に対する真摯な姿勢、業界の未来に対する憂いや情熱、そして一致団結することで組織や時代を動かさうと大きな力が生まれることを学ぶことができました。

人材不足が叫ばれ、採用も難しい中で企業の核となる人間が中心となって同業他社と手を取り合い、企業「群」となって新しいものを創造していく。このような活動の先駆けとなる組合は今後も社会に必要とされるのではないのでしょうか。

今後も業界発展と地位向上を目的に東北から全国へ盛り上げていきます！

各ブロック会員大会に東北七県理事が参加しました！

令和6年度は各ブロックで会員大会が開催されています。7月27日に山形の地で開催された東北ブロック会員大会を皮切りに、東北七県の理事が岩田会長と共にそれぞれの会員大会に参加させていただきました。

・中国ブロック	(米子)	9月27日	山形県	佐藤	理事
・九州ブロック	(長崎)	9月21日	宮城県	堀内	理事
・北陸ブロック	(富山)	10月5日	岩手県	坂本	理事
・関東ブロック	(前橋)	10月26日	秋田県	高橋	理事
・中部ブロック	(四日市)	11月2日	福島県	紺野	理事
・関西ブロック	(神戸)	11月9日	新潟県	本間	理事
・四国ブロック	(松山)	2月1日	青森県	山子	理事

※北海道ブロック会員大会(釧路)は東北七県電気工事組合連合会主催の第4回電気工事技能競技東北大会開催のため不参加

各ブロックの会員大会はどの地区も趣向が凝らされていました。意見交換会はもちろん、イルミネーションを協同で設置し点灯式を実施したり、歩行者天国で各県が作成した電気アートを展示する、また著名人をお呼びしての記念講和など、東北ブロック会員大会でもやってみたい事業がたくさん行われていました。また各地での懇親会も芸人さんをお呼びしたり地元の郷土芸能を披露したり、またアトラクションも交え、交流の輪が広がっていくのを感じました。そして何より、食事もせず懸命におもてなしをいただいている主管の都道府県工組青年部、現地の単協青年部の皆様には本当に感謝しています。またその後の2次会もお店を用意してくださり、深夜まで大盛り上がりだったと記憶しています(記憶はほとんどありませんが・・・)

2年に1回開催しているところの多いブロック会員大会。持ち回りで実施しているブロックもあり、会員減少や予算確保のため苦勞している都道府県工組青年部も少なくないと感じています。主催であるブロックと主管である県工組青年部、また開催地であり一番現場で頑張る必要のある市町村の単協青年部との意思疎通、一体感が大会成功に必要な要素なのではないのでしょうか。おそらく目的を統一しなければ、「負担だ」とか「やらされている」という意識が強くなり、結果大会は開催したけど単協青年部や都道府県工組青年部が疲弊してしまつては本末転倒です。

各地ブロック大会に参加して、目的を共有するためには以下の3点を明確にすることが大切だと思います。

- 一、会員が大会に参加、参画することで得られる成長の機会の創出
- 一、会員同士の交流により長期的で強固なネットワークの構築
- 一、大会開催による主管地域の活性化と業界認知度の向上

今後も開催予定のブロック会員大会。参加された会員の皆様、そして主催し参画した会員の皆様双方に「やってよかった」「青年部活動が活発になった」「地元の方々から声をかけられるようになった」と言われるような大会を開催できるようにしていきます。

各ブロック会員大会の様子です



電気工事技能競技東北大会への参画



令和6年10月12日

宮城県にあるポリテクセンター宮城にて第4回電気工事技能競技東北大会が開催されました。

一般の部からは各県より1名ずつ計7名

女性の部では福島県より1名が競技に参加しました。

この事業は東北七県電気工事組合連合会が主催なのですが、大会の競技委員や実行にかかわる部分は各地青年部が担っており、実行委員会を重ねての大会となります。日頃からそれぞれの選手は、仕事やプライベートの合間をぬって技術の特訓に励んでおります。その努力に水を差さないように運営の部分も全力で行ってきました。

結果は

金賞：新潟県 銀賞：岩手県 銅賞：山形県 女性の部：福島県 となりました。

その後令和6年11月28日横浜アリーナにて第5回電気工事技能競技全国大会が開催されました。

電気工事の甲子園とも言われるこの大会には東北各県の代表選手も出場し、幾度となく課題を繰り返し練習し、本番最後の1回に全力で挑みました。また、それぞれたくさんの会員が大応援団となって集結し選手と共に戦っていた様子が印象的でした。

結果東北ブロックは

- (女性の部) 福島県：近藤あゆみ 選手～【金賞】
- (一般の部) 岩手県：畠山翔太郎 選手～【銅賞】
- (一般の部) 山形県：佐藤雄一郎 選手～【敢闘賞】

の3名の選手が見事受賞する事ができました！！

惜しくも入賞に届かなかった選手も全国の強豪に臆することなく最後まで戦い抜き大健闘でした！参加することでたくさんの感情が芽生えたことと思います。うまくいったこと、くやしかったことをこれからの業務に活かしていただくと幸いです。

選手の皆様、そして東北各県から応援に駆けつけてくれた会員の皆様、大変お疲れ様でした。

この大会を糧に今後も自県の技術向上と継承に努めていきましょう！